

令和2年度ちば里山アワード

ちば里山大賞

里やまボランティア入門講座から
里やま活動への展開

松戸里やま応援団

代表者：代表 野口功

松戸市HP：https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/toshiseubi/midori/satoyama_hozen.html

松戸里やま

応援団HP：<http://matsudo-satoyama.org/siryo/siryo.html>

活動開始：2004年3月～

会員数：約200名

活動場所：松戸市

活動面積：140,000㎡



子どもたちの木登り体験



森の音楽会



里やまボランティア入門講座（屋外講義）



里やまボランティア入門講座（伐倒実演）

きっかけ、内容

松戸市内の民有樹林地が減少する中、「これ以上みどりを減らしたくない」「次の世代に良好な自然環境を引き継ぎたい」という思いを市民・所有者・行政が共有し、松戸市緑化推進委員会の発案で「里やまボランティア入門講座」が始まりました。

18年続くこの講座の修了生たちで、現在14団体に分かれて市内の森林を整備しています。そして、14団体の総体である「松戸里やま応援団」として、松戸市や千葉大学などと連携し、広く市民に森の魅力を伝え、緑の大切さへの理解を広げる活動を続けています。

実績、独自の取り組み

14団体からなる連絡会で情報を共有しており、会員のスキルアップを図るステップアップ講座を適宜開催するなど連携して活動しています。また、日頃の活動で整備している森林を広く市民に公開する「オープンフォレストin松戸」を毎年開催しています。公開した森林では散策やツアーなどの催しを行い、約2,000人の参加者が集まります。

これらの活動は市民・所有者・行政・大学などと連携して実施しており、そのノウハウは、類似の講座の開催といったかたちで近隣市にも広がっています。